

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計 雇用回復ペースは鈍い

失業率は低下したものの非農業部門雇用者数の増加ペースは鈍化

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

雇用の回復ペースが鈍る

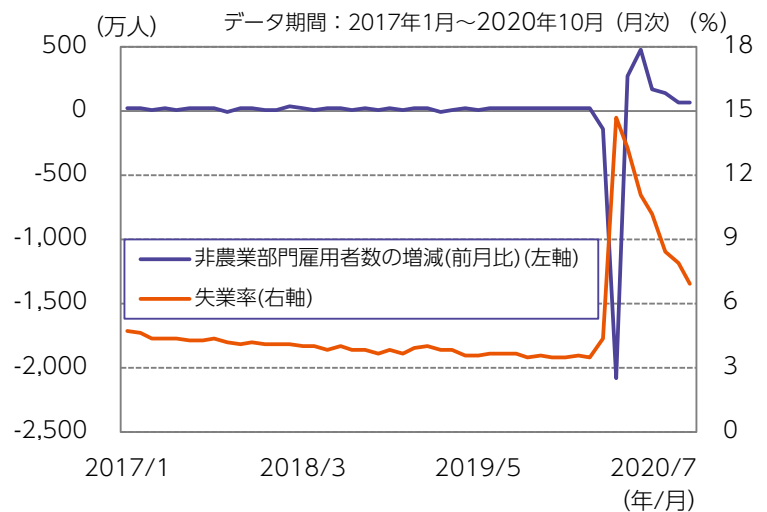
11月6日に米国労働省が公表した10月の雇用統計は、失業率が6.9%と前月の7.9%より1.0%改善し、事前予想(7.6%)を上回る結果となりました。非農業部門雇用者数も63.8万人増と事前予想(58万人増)を上回りました。市場予想は上回ったものの、過去最高を記録した6月(478.1万人増)以降で最小の雇用者数の増加となっており、雇用回復のペースが鈍りつつあるものと思われます(図表1)。

失業者の増加の可能性は高いとみられる

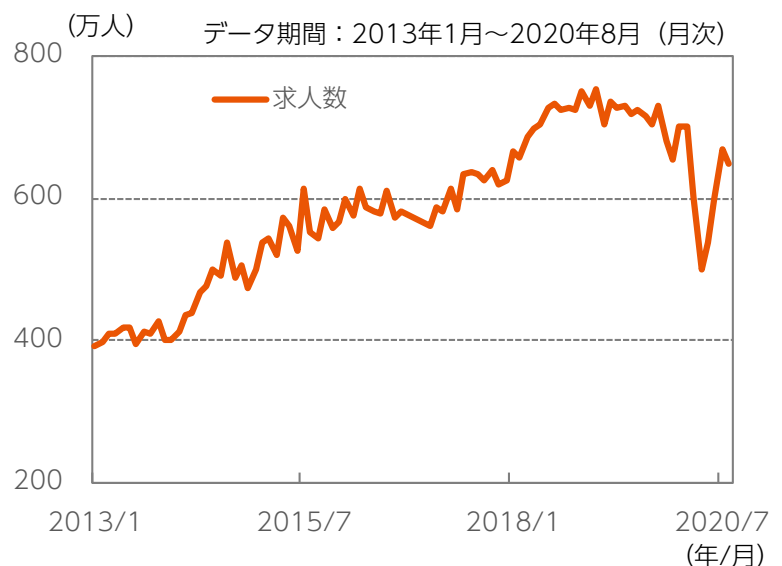
10月の失業率は1%低下したものの、米国の求人数は減少傾向にあります。4月に求人数は2014年12月以来約5年ぶりに500万人を割り込んだ後、3ヵ月連続で回復していましたが8月は649万人と7月から20万人減少しました(図表2)。市場では9月も求人数はやや減少することが予想されています。求人数が減少する中で失業率が低下しているのは、職探しをあきらめて労働市場から退出する人も増加していることが原因であると言われています。足元では、雇用環境の悪化に歯止めがかからない状況が続いているものと思われます。

10月以降新型コロナウイルス新規感染者数が急増しており、今後、企業による人員採用が抑制される可能性があるものと考えられます。一方で、足元で難航している中小企業支援を含む追加経済対策が、当選が濃厚となっている民主党バイデン氏の下で進展すれば、雇用にとってプラス材料となると思われます。雇用環境の好転には、感染抑制、追加経済対策の早期合意がカギを握ることが想定されます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：求人数の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>